

平成25年度 行政評価 施策カルテ

施策名	4 財政基盤の確立
-----	-----------

施策主管課	財政課	総合計画記載頁	142ページ
-------	-----	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	VI 持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	政策名 (基本施策名)	24 行政経営基盤を強化する	政策の達成目標 (基本施策目標)	本市の行政運営を効果的・効率的に行うことで、行政経営基盤が強化されています。
------	-----------------------------	----------------	----------------	---------------------	----------------------------------------

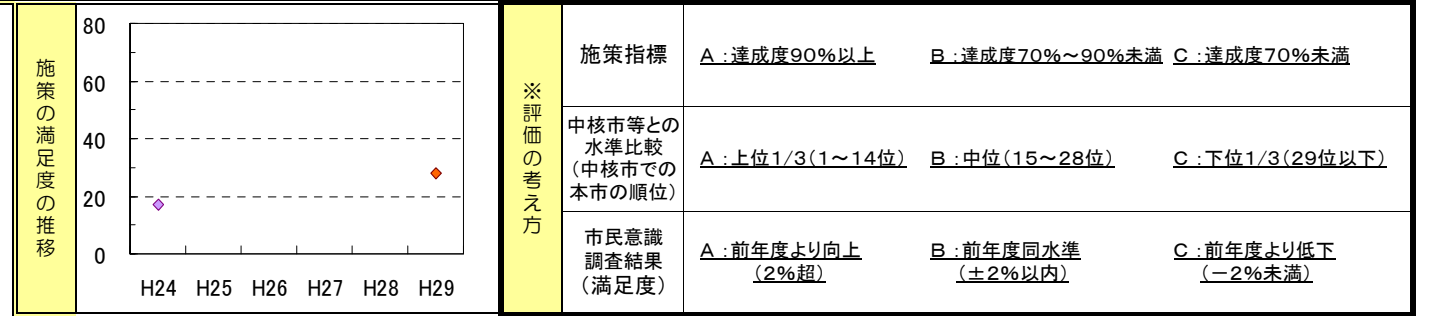
2 施策の取組状況

施策目標	将来にわたる財政の健全性が確保されています。
------	------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		単年度目標値	H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24 (H23.3現在)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	指標1	公債費負担比率(%)		単年度目標値	15%以内	15%以内	15%以内	15%以内	15%以内			15%以内	15%以内	A	指標3	自主財源比率(%)	中核市平均	23年度決算 52.3%			
	現状値	実績値	23年度決算 14.3%										実績値	23年度決算 64.1%							
	目標値 (H29)	単年度の達成度	104.9%										中核市での本市の順位	4位/41市中							
指標2	経常収支比率(%)	単年度目標値	80%台	80%台	80%台	80%台	80%台	80%台	80%台	A	指標4	将来負担比率(%)	中核市平均	23年度決算 85.3							A
	現状値 (H23実績)	実績値	23年度決算 90.6										実績値	23年度決算 23.1							
	目標値 (H29)	単年度の達成度	99.2%										中核市での本市の順位	8位/41市中							
		単年度目標値										③ 市民意識調査結果		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	現状値	実績値											施策の満足度(%)	調査結果	17.2%						
	目標値 (H29)	単年度の達成度											目標値 (H29)	27.8%	前年度からの増減						-

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{単年度目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減退型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{単年度目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策指標	<ul style="list-style-type: none"> ・プライマリーバランスの黒字化を基本とした市債の計画的・効果的な活用を図るとともに、基金の涵養に取り組んだことにより、「公債費負担比率」の目標を達成するとともに、「将来負担比率」についても、中核市水準で上位となった。 ・新たな財源の確保や収納対策の強化、事務事業の「選択」と「集中」などに取り組んだことにより、前年度比で「経常収支比率」が改善するとともに、「自主財源比率」についても中核市水準で上位となっており、財政の健全性が確保されている。 	市民満足度		進捗の状況	順調
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	--	-------	----

3 施策を構成する事業の状況

No.	事業名	戦略P・主要事業	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		開始年度	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物（誰・何に）	取組（何を）		
1	財源配分の最適化		事務事業の「選択」と「集中」の徹底 受益と負担の適正化	市民	ゼロベースの視点からの事務事業の見直し		行政改革推進プランと連携を図りながら、決算状況や行政評価結果などを踏まえ、限られた財源の中で、市民ニーズや社会情勢の変化に的確に対応した予算を編成する。
2	市債の適正管理	○	将来負担への負担に配慮した財政運営	市民	市債残高に配慮した市債の活用		後年度への過度な負担を回避するため、プライマリーバランスの黒字化を基本としながら、市債の計画的・効果的な活用を図る。
3	基金の適正管理	○	将来負担への負担に配慮した財政運営	市民	3基金（財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金）の計画的な運用		安定的な財政運営を確保するため、社会経済情勢の変化や税収見込等を踏まえ基金を有効に活用しながら基金の涵養を図る。
4	全庁的な収納対策の実施		自主財源の確保	市民	市税の収納率の向上	H11	自主財源の確保や市民負担の公平性の観点から、今後とも、適切な収納指導を実施し、全庁的な収納対策の強化に取り組んでいく。
5	新たな財源の確保		自主財源の確保	市民	財産の有効活用による財源の確保		広告事業の更なる推進や未利用地の売却・貸付、太陽光発電への屋根貸しなど資産の積極的な活用に努め、継続的な収入の確保を図る。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆企業収益の回復基調などにより、今後、緩やかな市税収入の増加が見込まれるものの、高齢化の進展に伴う社会保障関係経費の増大や、施設の耐震化・老朽化対策等に係る一時的な投資的経費の増大も見込まれることから、より一層「将来世代への負担に配慮した財政運営」に取り組んでいく必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉 ◆中期財政計画、総合計画実施計画、予算編成による計画行政システムを最大限活用し、財政基盤の強化に向け、今後も継続的に取り組んでいく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆市債の適正管理 市債は世代間負担の公平性の確保や財政負担の平準化などの役割を担うものであることから、将来の財政運営への影響や基金残高とのバランスを考慮しながら計画的・効果的な活用に努めていく。</p> <p>◆基金の適正管理 基金は将来の行政需要や年度間の財政調整に的確に対応し、財政運営の長期的な安定性を確保するものであることから、税収等の見込や市債活用とのバランスを考慮しながら、有効に活用し必要な財源を確保するとともに、決算剰余金の活用などにより涵養に努めていく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>